

第七十四回  
帝國議會  
貴族院

# 朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員會會議事速記録第七號

付託議案(追加)

臺灣事業公債法中改正法律案

昭和十四年三月十一日(土曜日)午前十時  
十分開會

○委員長(子爵堀田正恒君) 是ヨリ開會致  
シマス、前會ニ引續イテ質問ヲ許シマス

○男爵大藏公望君 丁度内務大臣ガ御列席

デアリマスカラ、先般久保田委員カラ御尋  
シタ問題ニ付テ内務大臣ノ御意嚮モ伺ッテ  
見タイ、鐵道大臣ノ御答辯ハ既ニ伺ヒマシ  
タガ、内務大臣ノ御答辯モ伺ヒタイと思ヒ  
マス、ソレハ先般御話ノアリマシタ軌道ト

鐵道ト云フ問題、先般久保田委員ノ質問ノ  
時分ニモ説明ガアリマシタヤウニ、例ヘバ

東京ノ地下鐵道ハ地方鐵道デアリ、大阪ノ  
地下鐵道ハ軌道デアアル、大阪附近ニ今一番  
大キナ線路ヲ有シテ居ル大阪軌道株式會社、  
是ハ大阪カラ名古屋迄行キ山田迄行ク、恐

ラク其ノ哩數ハ日本一カト思ヒマスガ、是

ハ軌道會社デアリマス、地方軌道デアリマ  
ス、又他ニ阪急、是モ軌道デアリマス、サ  
ウシテ南海ノ方ハ鐵道、ドウモドレガ鐵道

デ、ドレガ軌道カ分ラナイ、是ハ私モ能ク  
存ジマセヌガ、可ナリ長イ間ノ内務省竝ニ

鐵道省ノ懸案ト申シマセウカ、マア惡イ言

葉デ申セバ權限爭ト申シマセウカ、何レニ  
モ關係ガアリマスノデ、ツイ軍配ガ上デ兼  
ネルト云フヤウナ事情ガアルヤニ聞イテ居

ルノデアリマスガ、オ役所ノ方ハソレデ宜  
クテモ、民間ノ方ハソレデハタマラナイ、  
ドウカ一ツ此ノ問題ヲ兩省御協議ノ上デ、

例ヘバ新シク認可スルト云フ時分ニハ、是

ハ道路ノ上モ使ヒマセウカラ、是ハ内務省  
ノ方デ軌道ノ分ヲ御考ニナルノモ宜イガ、  
認可シタ後ノ營業成績、技術上ノ問題、其  
ノ方面ハ鐵道省ノ方ガ「エキスパート」ヲ持ッ

テ居ルカラ、鐵道省ガヤルトカ何ントカ  
兩省協議ヲサレテ一本ニサレテ、斯ウ云フ

ヤウニ誰ガ考ヘテモヲカシナコトノナイヤ  
ウニ一ツ御相談ガ願ヘナイモノカ、先般鐵  
道大臣カラ御答ガアリマシタガ、尙内務大  
臣ノ御考ヲ承リタイと思ヒマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今御話ノ

點ハ軌道法ト地方鐵道法、此ノ關係ハ御話  
ノアリマシタヤウニ隨分其ノ時々ノ古い沿  
革デ認可ガ行ハレマシテ、申請サレタ方面

デソレヲ認可シテ居ル爲ニ、後カラ見ルト  
甚ダ説明ノシニクイ狀態ニアルコトハ事實

デアリマス、今日デモ内務省ト致シマシテ

ハ、例ヘバ軌道法デアリマシタモノヲ地方  
鐵道ニシタイト云フコトノ申請ガアレバ、  
是ハ差支ナイ程度ニ於テ之ヲ認メテ相當ニ

許シテ居リマス、只今ノ所鐵道省ト内務省  
トノ間ニ、所謂權限爭ト云フヤウナ意味デ  
ハサウ問題ガナイト存ジテ居リマス、可ナ

リ能ク緊密ナ連絡ヲ執ッテ居ルノデアリマ

ス、唯御話ノヤウニ隨分長距離ノモノガ軌  
道デ、地方鐵道ト殆ド類似ノモノガアルノ  
デアリマスカラ、ソレ等ノ監督ニ付テ、鐵  
道専門家ノ眼カラ見テ相當ニ監督スベキモ

ノモアルト存ジマス、ト同時ニ道路ノ路面  
ヲ使ッテ居ルモノニ付テハ、道路ノ行政上内

務省ガ相當ノ之ニ監督ヲ加ヘナケレバナラ  
ヌヤウナ次第デアリマス、御話ノ點ニ付キ  
マシテハ能ク兩省ニ於テ協議致シマシテ、  
出來ルダケ圓滑ニ行クヤウニ、又將來ノ認

可ニ付キマシテモ餘リ後カラ見テ説明ノ付

ケニクイヤウナコトノナイヤウニ、兩省協  
議ヲシテ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 有難ウゴザイマス、ソ  
レデ結構デスガ、ドウカ長年ノ懸案デア  
カラ、ナカノ急ニハッキリシタ纏リヲ付

ケルコトハムツカシイコトハ思ヒマスガ、

斯ウ云フ時勢デモアリマスノデ、是非此ノ議  
會デモ濟マシタナラバ兩省ノ當事者ガ協議  
ヲシテ、此ノ問題ニ對シテハッキリシタ解決

ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス、尙モウ  
一ツ、是ハ先日久保田委員カラ質問ガアツタ

ノデハナイガ、丁度内務大臣ガイラシヤル

カラ御伺シタイノハ、水陸連絡、港灣ニ於ケ  
ル行政ノ問題デアリマス、是ハ單ニ鐵道省内務  
省ノミナラズ、逓信省大藏省モ深イ關係ヲ  
持ッテ居ルノデ、實ハ兩方ノ大臣ノオイデヲ

願ヒマシテ御伺シタイノデアリマスケレド  
モ、可ナリ煩ハシイノデ、内務省關係ダケ

ニ付テ伺ヒタイと思ヒマス、御承知デモア  
リマセウガ、滿洲アタリニ參リマスト港灣  
ノ行政ガ誠ニ統一ガ取レテ、内地ノ人ガ來  
テ大變美シイト云フ狀態デアル、其ノ爲ニ

萬事圓滑ニ行キ、非常ニ成績ヲ收メテ居ル

ノデアルガ、内地ニ於テハ大藏省所管ノ稅  
關ガアリ、或ハ鐵道ノ線路ガアリ、ソレハ

鐵道省所管デアアル、港灣、築港、土木ニ付  
テハ内務省ノ所管デアリ、又通信關係ニ於  
キマシテハ逓信省所管デアルト云フノデ、  
何カ港ニ於テ政府ニ交渉スル事ガアリマス

時分ニハ、其ノ何レニモ駈ズリ廻ッテ、一ツノ所ガ聽カナケレバナカ／＼話ガ進マナイト云フ状態ニアルコトハ、モウ常ニ港灣ニ關係スル總テノ人ガ非常ニ困ッテ居ル、港灣

關係ニ付テハドウシテモ行政ヲ統一シナケレバナラスコト云フコトハ、又先程ノ問題ト同様長年ノ懸案ダト私ハ承知シテ居ル、萬事改革シナケレバナラス、殊ニオ役所關係ト云フモノハ先般私モ本會議デ申上ゲタヤウニ、オ役所同士ノ間ガムツカシイカラト云フノデ、コダハッテイラシヤルト云フノデハナカラウカト思ヒマスカラ、模範ヲ示サレテ、此ノ機會デモアリマスノデ、サウ云フ風ナ問題モ是非一ツ御考ヲ願ヒタイ、何時モ斯ウ云フ問題カラ出發シテ交通省ノ必要ガ唱ヘラレル、他ノ意味ニ於テ私ハ交通省ノ必要ノ唱ヘラレルコトハ已ムヲ得ナイト思フガ、斯ウ云フヤウニ現ニ話合ヲ付ケレバ相當ニ話合ノ付ク筈ノモノガ、付カスガ爲ニ役所迄拵ヘルト云フ議論ノ出ルノハイカスト思フ、何トカ今申上ゲタヤウニ軌道ト鐵道ノ問題同様ニ、關係ノ省ニ於テ御相談ヲ願ヒマシテ、謂ハバ一般民衆ニ對シテ出來ルダケ不便ノナイヤウニ一ツ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ思ヒマス、如何デアリマセウカ、私ノ御尋ネシマスノハ、此ノ問題

ニ付テモ前ノ問題ト同様ニ御相談下スッテ、一日モ早く今日ノ缺點ヲ御直シ下サル御考ハナイカ、其ノ點ヲ御伺ヒスルノデアリマス

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今御尋ノ港灣行政ノ統一ト申シマスガ、其ノ問題ニ付キマシテモ、只今御話ノ通り長年ノ問題デアリマス、隨分各省ニ、是ハ殊ニ先程ノ問題ヨリモ又關係省ガ多イノデアリマス、時ニ問題ニ依リマシテハナカ／＼決シナイデ、役所自體デモ困ルヤウナコトガアルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ十分今後ハ此ノ統一ニ付テ、關係各省ニ於テ協議致シマスルコトハ無論異論ノナイコトデアリマス、唯其ノ實現ニ付キマシテハ、ナカナカ沿革モアリ、ムヅカシイ事モアリマス、如何ナル方法ニ依リ、如何ナル方面ニ向ッテ之ヲ進メテ行クカト云フコトニ付テハ、只今ノ所マダ十分ノ成案ヲ持ッテ居リマセヌ、御話ノ點モアリマスカラ、關係省ニ於キマシテ十分其ノ點ハ協議ヲ致シマシテ、何トカ餘リ利用スル方面カラ迷惑ノナイヤウニ致シタイト云フコトハ、日頃カラ私共モ考ヘテ居ル次第デアリマス、十分其ノ點ニ付テハ考慮シタイト思ヒマス

○男爵大藏公望君 満足スベキ御答ヲ得テ、

ソレデ結構デアリマスガ、尙甚ダ諄イヤウデアリマスガ、先日モ申上ゲタコトヲモウ一遍申上ゲタイノハ、今日民間ニハ色々ノ事情モアリ、沿革モアリ、利害關係ガ殊ニアリ、ソレモ一片ノ政府ノ命令ニ依リマシテビシ／＼ト統制サレテ、民間ノ迷惑ト云フコトハ此ノ際ダカラ我慢シロト云フコトニ依ッテ、ドン／＼統一サレル、是ハ私ハ今日ノ時勢ニ於テハ御尤ト思ヒマスガ、官廳ニ於テハ之ヲ統一スルモノガナイ、矢張り官廳自身ニ於テ、民間ガ困ラウカラ一ツ斯ウシテヤラウト云フ御氣分ニオナリニナラナケレバ、到底統制ハ取レナイノデアリマス、今御話ノ御言葉ノ中ニ、沿革モアリナカ／＼面倒ダト云フ御話ガアリマシタガ、其ノ面倒ヲ打破ッテ戴クコトヲ希望スルノデアリマス、實ハ私ハ殆ド毎回ノ議會ニ此ノ問題ヲ伺ヒマシテ、其ノ度ニ同ジヤウナ御答辯ガアリマシタ、今内務大臣ノ御答辯ト殆ド同様デアリマシテ、如何ニモ尤モ、何トカ考ヘヨウト云フコトデアリマス、今迄ナラバソレデモ私共モマア仕方ガナイデアラウ、面倒ダカラト云フコトデアリマシタガ、今日見タヤウナ民間ニ對シテビシ／＼爲サル時ニ於テハ、ドウカ政府ニ於キマシテモ今迄見タヤウナ御答辯ダケノ

コトデナクシテ、直チニ實行サレムコトヲ希望スルノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス、私ノ内務大臣ニ對スル質問ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 他ニ内務大臣ニ對スル質問ハゴザイマセスカ……ナイヤウデアリマス

○男爵大藏公望君 次ニ鐵道大臣ニ伺ヒタイ、先ヅ伺ヒタイノハ今日時局ハ斯ク進展シテ參リ、日本ノ勢力ガ東亞大陸ニ及ビツツアル際ニ、鐵道大臣ハ如何ナル大陸ニ對スル交通政策ノ御抱負ヲ御持チニナッテ居ラシヤルカ、先ヅソレヲ伺ヒタイ、ソレニ續キマシテ或ハ尙伺ウカモ知レマセスガ、先ヅソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(前田米藏君) 非常ニ大キナ問題デアリマシテ、御承知ノ通りニ大陸ニ於キマスル交通政策、鐵道政策ト云フヤウナモノハ、支那ニ於テハ御承知ノヤウニ企畫院ガアリ、興亞院ガアリ、又滿洲ニ於テハ滿洲國ガアリ、朝鮮ニ於テハ朝鮮總督府アリト云フノデアリマシテ、行政系統カラ言ヒマス鐵道省ノ所管ト云フ譯デハナイノデアリマスガ、併シナガラ何ヲ申シマシテモ今日ノ時ニ於キマシテ、大陸ニ於ケル交通政策ト云フモノヲ目標トシテ考ヘマス時

ニハ、ドウシテモ多年ヤッテ居リマシタ鐵道

省ガ主體ト言ヒマスカ、或ハ中心ト言ヒマス  
カ、ニナッテ大陸ニ於ケル交通政策ヲ整備セ  
ネバナラヌノデアラウト私ハ考ヘテ居ルノ  
デアリマス、從ヒマシテ鐵道省ト致シマシ  
テハ御承知ノヤウニ此ノ事變以來ト云フモ  
ノハ、奉天ニ或ハ北京ニ、上海ニ駐在員ヲ  
置キマシテ、大陸ト内地ト、日滿支ニ於ケ  
ル交通ニ付キマシテハ十分ニ連絡ヲ緊密ニ  
致ス爲ニ努力ヲ拂ッテ居リマス、又事有ル場  
合ニ於キマシテハ多クノ資材、多クノ人員  
ヲ派出致シマシテ、今日事變ノ爲ニ貢獻シ  
テ居ルヤウナ次第デアリマシテ、鐵道ト致  
シマシテハ行政系統ノ上カラ申シマスレ  
バ、必ズシモアノ方面ニ於テノ施設ニ付キ  
マシテ彼此發言ヲ致スコトハ如何カと思フ  
ノデアリマスガ、併シナガラ我が國ニ於ケ  
ル交通政策ヲ引キ延シテ、日滿支ノ交通ヲ  
一貫シテ考ヘマス時ニ於テハ、鐵道ガ中心  
トシテヤラネバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘ  
テ居リマスノデ、今日迄モ只今申上ゲマシ  
タ通り、物的及人的ニ於テ多クノ仕事ヲ今  
日爲シテ來テ居ル次第デアリマスガ、將來  
モ亦サウ云フ心構ヘヲ以テマシテ、我々ハ  
將來此ノ交通政策ニ付キマシテヤッテ行キ  
タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリ

マス

○男爵大藏公望君

大體ノ御意見ヲ承リマ

シテ誠ニ結構ト思フノデアリマスルガ、唯  
私ノ承知シテ居リマス範圍内ニ於キマシテ  
ハ、其ノ實行ニ於テハ必ズシモ左様ニ參ッテ  
居ラス、例ヘバ機材ニ於キマシテモ内地ガ  
狹軌デアアル爲ニ、一滿鐵會社ノ供給シテ居  
ル數量ニハ到底及バナイ、極ク少量ノ機材  
シカ出シテ居ラス、是ハドウシテモ内地ガ  
狹軌デアルト云フコトノ結果ガ非常ニ大キ  
ナ原因ダと思フノデアリマス、從ッテ茲ニド  
ウシテモ内地ニハ軌幅ノ問題ガ起リハシナ  
イカ、斯ウ考ヘマス、實ハ私共モ個人的ニ  
ハ長年、又今日ニ於キマシテモ内地ダケノ  
點ヲ考ヘマスルト、内地ハ現在ノ儘デ、今  
ノ狹軌デ結構デアルト云フ風ノ意見ヲ持ッ  
ノデアリマスルケレドモ、事態斯クノ如ク  
ナリマシテ、將來ハ「シベリア」方面ニモ隨  
分澤山機材ヲ供給シナケレバナラス時代ヲ  
考ヘマスルト、機材供給ト云フ點カラ申シ  
マシテ、自ラ鐵道省ノ御考ガ違ッテ來ルベキ  
デヤナイカ、是ガ大キナ大陸交通政策ノ一  
ツデナケレバナラス、斯ウ考ヘルノデアリ  
マス、先般新聞ニハ確力東京・下關間ニ別ニ  
一線ヲ設ケテ、廣軌トスル考デアルト云フ  
風ノ記事ガ出テ居リマシタ、衆議院ニ於ケ

ル説明デアツカト思ヒマスガ、兎ニ角出テ

居リマシテ、誠ニ結構ニ拜見シタノデアリ  
マスルガ、是ダケデハ到底足ラス、矢張り  
日本ノ鐵道ノ軌幅ニ付テ根本的ニ考フベキ  
時ガ來タノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私共  
考ヘルノデアリマスガ、如何御考ニナリマ  
スルカ、此ノ機材ノ供給ト云フ點ニ付テ第  
一ニ御伺ヒシタイ、次ニ人ノ供給ノ問題デ  
アリマス、之モ鐵道デハ澤山ナ優秀ナ從事  
員ヲ持ッテイラシヤルノデ、サウ御困リ  
ニナラス、又相當ノ供給ガ出來ルト云フ  
風ノ御立場ニアルコトと思フノデアリマス  
ルガ、何分ニモ現在デハ鐵道ノミナラズ  
各方面ノ企業ガ盛ニナリ、人ガ足ラヌト  
云フ時分ニ於キマシテハ、矢張り大陸ニ對  
スル人的資源ノ供給ト云フコトニ關シマシ  
テ鐵道トシテモ十分御考ニナリ、例ヘバ  
現在持ッテイラシヤル訓練所見タヤウナ  
モノデモ大擴張ヲ爲サツテ、サウシテ謂ハバ  
大陸ニ於ケル鐵道ニ對シマシテハ、鐵道省  
ガ其ノ供給基地デアルト云フ風ノ施設ヲモ  
爲サラナケレバナラスデヤナイカ、斯ウ云  
フ風ニ考ヘルノデアリマス、只今大臣ノ御  
話ニナリマシタ人的並ニ物的ノ準備ニ關シ  
マシテ、私ガ只今申シマシタヤウナコトニ  
關シ如何ナル御考ヲ御持チニナリマスルカ、

此ノ點……

○國務大臣(前田米藏君)

物的及ビ人的ノ

問題ニ付キマシテ、成ル程軌幅ガ違ヒマス  
爲ニ色々不便ナコトモアツタノデアリマス  
ガ、ソレニハ相當ノ手數ヲ掛ケマシテ、相  
當ノモノヲ御用ニ立テテ居ル次第デアリマ  
ス、併シ只今大藏男爵ノ仰シヤル通り將來  
ノコトヲ考ヘテ見マス、斯ウ云フ問題ハ  
是非何トカ研究確定セナケレバナラス問題  
デアリマスノデ、丁度最近ノ運輸數量ノ點  
カラ見マス、著シイ、殆ド當局トシテハ  
豫想シテ居ナカッタ云フ程ノ數字ノ急激  
ナル増加デアリマスノデ、此ノ趨勢ヲ以テ  
致シマスレバ、東京・神戸間ノ如キハサウ遠  
クナイ中ニ輸送力ニ行詰リガ來ル虞ガアル  
ノデハナイカト思ハレル位デアリマス、我  
我ト致シマシテハサウ云フ時ガ來テカラ慌  
テテ其ノ對策ヲ講ジマシテモ、ナカノ御  
承知ノ通り鐵道ニ付テハ左様ニ急速ニ參リ  
マセヌノデ、將來ヲ慮リマス云フト、東  
京・下關間ニ於テ新タナ線路ヲ増設ヲ致シ  
テ、サウシテ此ノ輸送ノ貨客ノ増加ニ對ス  
ルト共ニ、大陸經營ニ對スル一助トモシナ  
ケレバナラス云フ風ニ只今考ヘテ居ル次  
第デアリマシテ、就キマシテハ御説ノ通り  
國內ダケ考ヘテ見マス、狹軌ト云フコト

ニ相成ルノデアリマセウガ、大陸方面ノコトヲ考ヘテ見マスト、廣軌ト云フコトモ當然考ヘナケレバナラヌ問題デアリマスノデ、事柄ハ頗ル重要ナ問題デアリマシテ、此ノ東京・下關間ニ於ケル新設ヲ考ヘマスト共ニ、軌幅問題ニ付キマシテハ十分慎重ニ研究調査ヲセニヤナラヌノデアリマスノデ、將來ニ於テハ事ラ之ニ付テノ利害得失、有ラユル角度ヨリ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ省內ダケデナク今私ノ考ヘ方ト致シマシテハ、成ルベク早イ機會ニ於キマシテ民間ノ經驗者、學識ノ御アリニナル方ニモ御協力ヲ願ヒマシテ、東京・下關間ニ於ケル新設ノ問題ニ付キマシテ、軌幅問題其ノ他ノ點ニ付テ御協力ヲ願ヒタイト今考ヘテ居ル次第デアリマシテ、今大陸ニ物資ヲ送ル爲ニ直チニ之ヲ廣軌ニスルト云フコトモ、只今トシテハ答辯申上ゲ兼ねマスガ、要スルニ軌幅問題ニ付キマシテハ、サウ云フヤウナ意味ヲモ加味致シマシテ研究ヲ只今致シテ居リマス、獨リ是ハ世間ノ所謂官僚ダケデヤルト云フコトモドウカト思フノデ、民間ノ經驗、學識ノアル方ノ御協力ヲ願フデ、サウ云フ問題ニ付テ成ルベク早イ機會ニ於テ協議シ、實現ノ緒ニ就イテ行キタイト斯ウ思フノデアリマス、人的ノ

方面カラ申シマスト云フト、御承知ノヤウニ此ノ頃各方面ニ學校等非常ニ要求ガ多イノデアリマシテ、鐵道省ガ自分ノ要スルダケノ技術家ヲ得ルコトニ付テ懸念ノアル今日デアリマスガ、併シ中堅分子トナッテ現業方面ニ働ク人ハ鐵道省自ラ養成スルト云フコトガ、今日ノ時勢上必要ナコトデアラウト云フコトニ相成リマシテ、今度御協賛ヲ願ヒマシタ豫算ノ中ニモ、只今男爵ノ仰シヤッタヤウナ風ニ、鐵道省ノ敎習所ヲ擴張致シマシテ、而シテ其處デ中堅ノ現業員タルベキ者ヲ養成致シマシテ、單リ國內ダケデナイ、將來大陸ノコトヲ考ヘテ見マスト、サウ云フ方面ニ働ケルダケノ人ヲ作ッテ行キタイト、斯ウ云フ風ナ考カラ其ノ用意ヲ今致シテ居ル次第デアリマス

○男爵大藏公望君 尙人的ノ問題ニ付キマシテハ、日本人ノミナラズ支那人ナリ滿洲人ナリ、矢張り之ヲ一私設鐵道會社ニ委セズシテ、鐵道省ガ國家的ニ養成シテヤルノダト云フ風ナ御考ニナッテ、廣ク大陸ノ諸鐵道ト云フモノガ、大體ニ於テ鐵道省ノ精神ト申シマスルカ、息ノ掛ッタ者ニ依ッテ統制サレルト云フコトガ、極メテ又宜イコトデヤナイカト考ヘマス、併セテ此ノ點モ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ御伺ヒ致シタイノハ、來年ハ二千六百年ノ大記念祭ガ行ハレル、私共ハ年ニ何回カ山田ニモ參拜シ、樫原ニモ參拜スルノデアリマスガ、其ノ度ニ此ノ山田ト樫原ノ間ノ鐵道ガ一私設鐵道會社デ以テ經營サレテ居ル、而モ聞ク所ニ依リマスルト其ノ鐵道ハ極メテ收入ガ少カッタノデ、配當モシテ居ラス、從ッテ又機材ノ修繕モ碌々行ハレテ居ナイ、考ヘヨウニ依ッテハ相當危險ナ狀態ニアルトモ言ヘルヤウナ程度デアリマス、最近ニ名古屋迄鐵道ガ開通シマシタノデ、相當ノ收入ヲ擧ゲテ來タヤウニ思ヒマスガ、丁度其ノ時分ニナリマスルト機材ガ高クナリ新シイ車モ出來ナイ、本年ノ正月頃ハ非常ナ混雜デアリマス、アレデ果シテ來年ノ二千六百年祭ノ時分ノ人ヲ運ベルカト考ヘマスト、是ハ絕對ニ不可能ダト云フ狀態ニ考ヘラレマス、先年京都驛デ非常ナ混雜ノ爲ニ不祥事故ヲ起シタコトガアリマスガ、此ノ儘打遣ッテ置キマスト必ズオ芽出度イ二千六百年ノ、殊ニ樫原竝ニ宇治山田ヲ中心トシタ參詣客ニ對シテ、人ヲ十分ニ運ベナイ爲ニドシナ不祥事故起ルカト云フコトスラ心配デアリマス、若シ起リマシタ時分ニ、不祥事件ノ責任モ隨分大キナ問題デアリマスガ、社會ニ對シテモ甚ダ申譯ナイノデハナイカト考ヘマスルノ

デ、大分手後レデアリマスケレドモ、今カラ何トカ御考ニナリマセスト、是ハ其ノ時ニナリマシテハ到底間ニ合ハナイ、或ハアノ貧弱ナル民間鐵道ヲ買ウナリ、若シクハ委託經營ヲナサルナリ、若シクハ之ニ對シテ十分ナル資材ヲ供給シテ新シイ車ヲ入レルナリ、「ゲージ」ガ廣軌デアリマスノデ、ソレヲ狹軌ニ直サシテ、サウシテ省ノ車ヲフンダンニ入レルコトガ出來ルヤウニナサルナリ、若シクハ各驛ノ間ノ距離ヲ短クシテ、相當金ハ掛リマセウガ、今カラデモ間ニ合ヒマスノデ、信號所ヲ作ッテ多數ノ列車ヲ入レルコトガ出來ルヤウニナサルナリ、兎ニ角色々ナ方法ヲ講ジテ御考ニナリマセスト、私共ノ聞イテ居ル範圍デハ、現在デモ名古屋ニ在ル相當大工場ノ職工スラ山田ニ參拜ニ送レナイ、車ガ足ラスノデ送レナイト云フ狀態デアルト聞イテ居リマス、今日ニ於テスラサウデアリマス、來年ハ餘程御困リニナル、私共ハ斯ウ云フ風ニ申上ゲテ、尙鐵道省ガ何モナサラスデイラシヤルト、其ノ責任ハ鐵道省ニ掛ッテ來ヤシナイカト、サウ心配スルノデアリマス、私ハ鐵道省ニ對スル責任ヲ云々スルノデハナク、出來ルダケ此ノ機會ニ於テ、日本人ノ多數ガ宇治山田竝ニ樫原ニ參宮出來ルヤウニ願ヒタイト

云フコトカラ申上ゲルノデアリマス、如何ナル御準備ナリ御手配ガアリマセウカ、又來年度ハドウナサル積リデアリマセウカ、大臣御迷惑ナラ政府委員デモ結構デゴザイマス、御答ヲ願ヒマス

○政府委員(鈴木清秀君) 二千六百年ヲ來

年ニ控ヘマシテ、山田及ビ樫原ヘノ輸送力ガ非常ニ激増スルコトニ付キマシテ、其ノ準備ニ付テ遺憾ナキヤト云フ御尋デアリマスガ、誠ニ仰セノ通りニ可ナリノ輸送ガ行ハレルト存ズルノデアリマスノニ、御存ジノヤウナ物資ノ制限ヲ受ケテ居ル際デアリマスノデ、思フヤウニ其ノ施設ガ行届キマセヌノデ、我々モ只管此ノ對策ニ對シマシテ研究モシ、注意モシテ居ルノデアリマス、山田カラ樫原ニ行キマスル所ノ鐵道ニ付キマシテハ、固ヨリ參急或ハ省線ヲ廻ッテ行ケナイコトモナイノデアリマスガ、又大阪カラ參リマスルノニハ大鐵ト大軌及ビ省線ガアリマスルガ、是等ニ付キマシテ先ヅ第一ニ聖域ノ擴張ニ連レマシテ、停車場ヲ移轉シナケレバナラヌ必要ガアリマシタノデ、之ヲ機會ト致シマシテ大軌及ビ大鐵ニ對シマシテ、共同停車場ヲ設置セシメマシタノデアリマスデ、又國內各方面カラノ輸送力ヲ十分ニ致シマスル爲ニ、畝傍カラ

樫原ニ行キマスル所ノ線路ヲ其ノ共同驛ニ敷設セシメマシタシ、共同驛ニ於キマスル電車及ビ列車ノ收容「ホーム」モ増加致サセテ居ツタノデアリマス、併シナガラ如何セン斯ウ云フ私設鐵道ハ省ノヤウニ彈力性ガゴザイマセヌノデ、其ノ輸送數量ノ激増ニ付キマシテハ多少ノ杞憂ガナイ譯デハナイノデアリマス、併シナガラ現在與ヘラレマシタル物資ノ範圍内ニ於キマシテ、出來ルダケ其ノ輸送力ヲ増加致サウト考ヘマシテ、昨年ニ於キマシテモ二千六百年ニ對應スル爲ノ増車、新車ノ増備ヲサセマシタシ、今年モ出來得ル限りニ於キマシテ其ノ増車ヲサシテ行キタイト思ッテ居リマス、其ノ他今ニ於キマシテハ前途ニ於ケル輸送數量ヲ把握スルノニ困難ヲ來シテ居ル狀態デアリマスルガ、段々其ノ輸送數量ガ明確ニナッデ來マスニ付キマシテ、ソレニ伴フ所ノ設備或ハ輸送方法ト云フヤウナモノニ對シマシテ、省社十分ノ打合セヲ致シマシテ準備萬端怠リナクシテ、此ノ盛典ニ對シテ何等ノ缺陷ノナイヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 今ノ御説明デハ極メテ不満足ナノデアリマシテ、アレデ運ブコトノ御確信ガアリヤ否ヤ、省社打合セテ萬事宜シクヤルノダト仰シヤルナラバ、大丈夫

ダト仰シヤルノデアリマスカ、私共ガ見マス所ニ依ルト今年ノ正月ノ狀態ダケヲ見マシテモ、到底足リルモノデハナイ、省社打合ハシテ萬遺憾ナキヲ期スルト云フ御答辯ハ、安心ナサイ、大丈夫行ケルノデスト云フ御答辯ナンデアリマセウカ、若シクハ今後有ラユル方法ヲ講ジテ萬遺憾ナキヲ期スル、來年度迄ニハ必ズヤルノダト云フ御答辯デアリマセウカ、マア色々ニ取レルノデアリマス、此ノ際責任ノアル御答辯ヲ伺ヒマスト却テ御迷惑ダト思ヒマスカラ、ソレ迄ハ申シマセヌガ、併シナガラ私ノ非常ニ心配シテ居ルノハ、唯單ニ機材ノミナラズ、アンナ小サイ鐵道會社デハ人員ガ足リナイ、平生デモ手ガ足ラナイ、マア謂ハバ經營上成ルベク人ガ少イノガ宜イカラ、手ガ足ラナイ、ソレデハナカカ、來年度ノ輸送ニ對シテハ、アンナ小サナ鐵道ノ人手ヲ以テシテハ運ビ切レルモノデハナイ、省ナラバ何トカ融通ガ付キマセウガ、又田舎ノ人ガアスコニ行ッテ、急ニ省ノ人ノ手傳ヲシタ所デ間ニ合フモノデハナイ、人的方面カラ申シマシテモ、物的ノ方面カラ申シマシテモ、少シク専門ノ知識ヲ持ッテ居ル者デアリマシタナラバ、運ビ切レルトハドウ考ヘテモ考ヘラレナイ、私ガ是迄申上ゲテ置イテ、

若シ來年ニナッテ運ビ切レナシタト云フ、斯ウ云フドウモナニガ足リナイト云フ風ナコトガアリマシテハ、鐵道省トシテモ大分困ツタ立場ニ御立チニナリハシナイカト思ヒマスルノデ、是非至急ニ此ノ問題ヲ御解決ニナルヤウニ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、尙序ニ申上ゲマスルガ、私設鐵道ニ對スル物資供給ノ問題、鐵道省ハ國防上ノ責任ヲ持ッテイラシヤイマスノデ、非常ニ私設鐵道ニ比ベマスルト云フト、豐富ナ物資供給ヲ御受ケニナッテイラシヤルヤウデアリマスルガ、私設鐵道ノ方ハ大藏省ノ方ノ査定ニ於キマシテモ、大分物資供給ニ關スル位置ガ低イノデ、餘程困ッテ居ルヤウデアリマス、マア遊覽鐵道其ノ他ニ關シマシテハ、私共モ大シタコトハ思ヒマセヌガ、都ノ附近ノ鐵道、社會政策上多大ノ關係ガアリマスル所ノ都ノ附近ノ鐵道ニナリマスルト、是ハ例ヘバ軍需工業ガ盛ニナルニ連レテ、ドウシテモ職工達ノ通勤ニハ此ノ鐵道ガ多分ニ使ハレル、サウ云フ鐵道ト全ク田舎ノ鐵道トハ大分事情ガ違ヒマスノデ、同ジ私設鐵道デモソコニ非常ニ違ヒガアル、ソレニ從ッテ物資供給ノ手加減ヲ御考ニナリマセヌト、是亦物ニ依リマシテハ事故ヲ起ス原因ニモナリマセウシ、又到底運ビ

切レスト云フ風ナ事態モ起シマセウシ、餘程一般民衆ニ困ツタ現象ヲ呈シハシナイカト思ヒマスノデ、此ノ點ハ鐵道省方面カラモ能ク關係省ニ御話ナサツテ、ソレ等ノ實情ヲ御聞明ニナリ、又不便ノ起ラヌヤウニ御手配ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ私ノ希望ダケヲ申上ゲテ置キマス

○男爵福原俊九君 今大藏男爵ノ樞原神宮ノ問題、ソレニ聯關シテ矢張り其ノ問題デ御尋シタイト思ヒマス、大藏男爵ノ御話ノヤウニ實際私ガ最近行ッテ見デモ、今ノ狀態デハ二千六百年記念ノ時ニハ餘程混雜シテ、今ノ御話ノ安心シテ居ラレカト云フヤウナ心配ガ出ル譯デゴザイマスガ、今ノ樞原神宮ノ神苑擴張工事ハ内務省ガ奈良縣ニ委託シテ、奈良縣ノ技師ガ出張所長ニナツテヤツテ居ル、ソレデマダアスコノ換地ガ纏ッテ居ラヌ、一部ニマダ換地ニ對スル不平ガアツテ、協議ヲ濟マシテ居ラヌ、其ノ結果今アスコニ入ッテ居ルノガ、先ツキ大藏男爵ノ御話ノ大軌ト大鐵トガ入ッテ居ル、ソレガ樞原神宮ノ所ヘ綜合驛ガ出來ル、處ガ大軌ノ新線ガ確カ本年ノ八九月頃ニ出來上ルベキ筈ノモノガ、丁度今度新シイ線路ガ出來ル所ノ眞中ニアル酒屋ガ移ラヌ爲ニ、今一時其處ヲ迂回シテ假線ヲ造ッテ居ルト云フ

ヤウナ狀態デアル、ソナヤウナ工合デ其ノ本ハドウカト云フト、極ク一般的ニ言ヘバ奈良縣當局ノ怠慢ト私ハ思フ、デ樞原神宮ノ問題ト云フモノハ、是ハ萬誤リガアツチャナラヌ譯デスカラ、殊ニ將來日本ノ皇道ハ樞原神宮カラ、所謂敵傍カラ皇道精神ハ出ルト云フ位ニアスコハ精神的ノ土地デナケレバナラヌ、處デドウモ此ノ時局ノ爲ニドノ官廳デモ仕事ガ忙シイノデ、ナカノ十分ノコトモ出來ヌノデセウト思ヒマスケレドモ、樞原神宮ノ神苑擴張ニ伴フ、詰リ其ノ主ニナツテ居ル奈良縣デサヘモドウモ怠慢デアル、細心ノ注意ヲ拂ッテ居ラナイ、十一月迄ニ全部出來ナケレバナラヌノニ、今日マダ換地問題ガ解決シテ居ラヌ、ソレカラ現ニ此ノ問題デ私ガ神社局長ニ會ヒマシタ時モ、神社局ハ庭園ノ方ヲヤルノダ、御宮ノ方ハヤレルケレドモ、神苑擴張ノ方ハ……神苑ダケヲヤルノダカラ、換地ガ出來ヌカラ困ッテ居ル、木ガ植エラレスト云フ、今ノ狀態デ行ケバ確カニ、鐵道ノ方ハ別トシテモ、樞原神宮工事ガ豫定通りニ萬遺漏ナク出來ルカト云フコトハ、私共ハ餘程心配デアル、サウ云フヤウナ狀態デアツテ、ドウモ輸送問題ニシテモ矢張り換地ガ出來ナケレバ早く出來ナイ、此ノ問題ヲ精神的ニハ考

ヘテ居ラレルカモ知レストケレドモ、ドウモ細心ノ注意ヲ拂ッテ一生懸命ニナツテハ居ラレヌヤウナ氣ガスルノデス、今鐵道ノ連絡ノ關係ガドンナ風ニナツテ居ルカ、丁度今御話ガアリマシタガ、マダ私詳シイ所ハ分リマセヌガ、關西線ガ敵傍ヲ通ッテ大阪へ行ッテ居ルガ、其ノ敵傍カラ今ノ樞原神宮ノ方ヘ持ッテ行ッテ支線ヲ入レラレル譯デスカ、或ハ樞原神宮ノ方ヲ通ッテ行クヤウニナルノデスカ、其ノ邊ハドウナツテ居リマスカ、今ノ大軌、大鐵ノ線路ノ工事ノ經過、サウ云フ點ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木清秀君) 敵傍ノ驛カラ今迄ノ樞原神宮驛前迄大軌ノ線路ガアツタノデアリマスルガ、今度ハ共同驛ニ向ッテ線路其ノモノガ少シ變更ニナリマシタノデ、其ノ變更ト同時ニ共同驛ニ伺ッテ線路ヲ延長サセマシテ、サウシテ省ノ列車ガ其ノ「ホーム」ヘ著ケルヤウニ設備シテ居リマス、ソレデアリマスカラ少シ距離ガ遠クナリマスガ、遠方カラ來タ客デ、省デ以テ伊勢ニ御參リシテ、伊勢カラ敵傍樞原神宮ニ行ク人、ソレト直グ敵傍樞原神宮ニ省デ行ク人ハ、其ノ線路デ以テ團體輸送ガ出來ルヤウニナツタノデアリマス

○政府委員(鈴木清秀君) 普通ノ場合ニ於キマシテハ乗換ヘネバナラスト思ヒマスガ、團體輸送其ノ他ヲヤリマス場合ニ於キマシテハ直線デ行ケルノデアリマス、又祭典當時ニ於キマシテ其ノ輸送ノ方法ニ依ッテハ、是ハ省ノ計畫デアリマスガ、樞原神宮前迄ノ列車ヲ作リマスレバ、個人トシテモ乗換ナシデ行ケナイコトモナイト思ヒマス

○男爵福原俊九君 ソレカラ先程御尋シマシタ大軌、大鐵ノ工事ノ經過ハドンナ風ニナツテ居リマスカ

○政府委員(鈴木清秀君) 樞原神宮ノ聖域ノ擴張ニ伴ヒマシテ、大軌ハ大體百萬圓、大鐵ガ二十數萬圓ダト思ヒマスガ、其ノ負擔ヲ致シマシテ、及ビ事務局カラノ土地ノ換價其ノ他ノ金ヲ戴キマシテ、サウシテアノ共同「ステーション」ヲ造ッタ譯デ、工事ノ竣功ハ殆ド成リマシタノデアリマスガ、只今福原男爵ノ申サレマシタ通りニ、其ノ途中ニ於テ酒ノ醸造家ガアリマシテ、ソレガ此ノ冬ハ醸造中ナモノデアリマスカラ、今直グ移轉スルコトハ非常ニ商業上困ルト云フノデ、今其處ハ迂回シテ假線デヤツテ居リマスガ、醸造期ガ過ギマスレバ、既定ノ線路ニ付換ヘルコトガ出來ルト思ッテ居リマス

○男爵福原俊九君 サウシマスト乗換ヘズ

○男爵福原俊九君 樞原神宮ノ擴張工事デ

今總テノ關係ノ方々ガ、所謂内務省、奈良縣、鐵道省其ノ他關係シテ居ル所デ、或ハ特別ノ委員會デモ作ッテ居ラレマスカ、例ヘバ鐵道ノ問題ノ如キハ、奈良縣デ總テノ事ヲヤッテ居ルカ、唯鐵道ノ問題ダケヲ大軌ガ鐵道省ニ報告スルトカ、相談ニ來ルト云フヤウナ關係デアリマスカ、私共ハドウモ關係官廳ガ皆一緒ニナッテ、寧ロ地方廳、詰リ奈良縣ノ當局ヲ鞭撻シテ行クヤウニシナイト、今モ御話ノヤウニ大軌ノ途中ニアッタ酒屋ガ、一體昨年引越サナケレバナラス、引越ス譯ニナッテ居ッタ、ソレガ買收價格ニ對シテノ色々ナ問題ガアッテ遅レタ、ソレデ又暫クソレヲ避ケテ假線ヲ付ケルト云フト、其ノ假線ガオ寺ノ門前ヲ通ルノデ、今度ハオ寺ノ檀家總代ガ反對シテ困ルト云ッタヤウナコトガ起ッテ、始終サウ云フコトガ起ルノデ益、混雜シテ來ル、ソレデ關係ノ方々ガ此ノ問題デ集ッテ、御相談ニナッテ居ルヤウナ機關ガ出來テ居ルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

對シマスル所ノ改良ノ計畫ヲ樹テラレテ居ルノデアリマスガ、其ノ計畫ニ付キマシテハ我々モ參與致シ、又之ニ對スル所ノ軌道會社及地方鐵道會社ニ對シテ、先程申上ゲマシタ費用負擔其ノ他ニ付キマシテモ、出資仲介及其ノ計畫ニモ參與致シマシタシ、共同停車場設置ノ設計等ニ對シマシテモ關與致シタノデアリマス、唯其ノ工事施行ニ至リマスル時ニ於キマシテハ、大體ニ於テ縣當局ノ方ニ委シテアリマシテ、其處マデノ打合セハ致シテ居ラナカッタノデアリマスガ、大體是ガ順調ニ行ッテ居ルト云フ報告ヲ聞及ンデ居ッタノデアリマス、今後ニ於キマスル所ノ輸送ノ對策ニ付キマシテハ、大阪鐵道局デハ其ノ準備委員會ヲ開催シテ、其ノ輸送數量ノ豫測等ヲ計ッテ居リマスシ、本省ニ於キマシテモ其ノ輸送力ノ増加ヲ測定シ得ラル、ニ連レマシテ、準備委員ノ打合セヲ行ヒマシテ、色々朝野共ニ此ノ輸送力ニ付テハ十分ニ打合セヲシテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○男爵福原俊九君 大體御話ハ分リマシタ

ガ、何處デモ換地問題ナドハ何時モ問題ガ起リ、終ヒニハ土地收用法ヲ振翳シテヤラナケレバナラスコトガ普通デアル、處デ樞原神宮ノ問題ダケハ、ドンナ事ガアッテモサ

ウ云フ事ガアッテハナラス譯デス、處ガ今御話シタヤウニマダ畝傍ノ街ノ整理ガ出來テ居ラヌト云フコトハ、奈良縣當局ガマア一方ニ收用法ガアルカラ、グヅ／＼言フ奴ハ何處ニモ多少ハアルダラウ、ソレハ已ムヲ得ヌコトダ云フ態度デ以テ臨マレテ居ッタヤウニ我々ハ感ズル、昨年來此ノ問題ガ起ッテカラ、最近ニナッテカラハ餘程住民ト官憲トノ間ハ好クナリマシタケレドモ、其ノ原因ハ私共ノ調査シタ所ニ依ルト云フト、大體畝傍ノ町長ノ不公平ノヤリ方ガ住民ノ感情ヲ唆ッタクト云フコトデアリマス、デ今ノ御話ノ内務省ノ都市計畫ノ方デ此ノ問題ヲヤッテ居ラレテ、サウシテ奈良縣ニ總テ委託サレタ、奈良縣ノ方デハ大體順序好ク行ッテ居ルト云フ報告ヲ受ケテ、ソレヲ唯信ジテ居ッタ、處ガ事實サウデナイト云フコトガ近頃分ッテ來テ、内務省デモ餘程注意シテ戴クヤウニナリマシタガ、私ガ此ノ際特ニ鐵道ノ方ハ、輸送ノ問題ト云フモノハ非常ニ大事ナ問題デアリマスカラ、ドウカ唯ウマク行ッテ居ルト云フ報告ダケニ安心セズニ、實際ウマク行ッテ居ラヌト我々ハ思フカラシテ、モウアト一年ハアリマセヌカラ、ドウゾ一ツ、或ハ役人ガ權限ヲ超エラレテモ、是ハ一ツ萬遺漏ノナイヤウニ本當ニヤッテ戴

カナケレバラスノデス、ソレヲ特ニ私ハ切望シテ置キマス

○男爵大藏公望君 アト二點大臣ニ御伺ヒ

シタイ、是ハ前ノ林内閣ノ時分ニ、今ノ鐵道大臣ガイラッシャッタ時分ニ私が可ナリ詳シク申上ゲタノデ、大臣ノ御決意ヲ伺ヒ、又其ノ内ノ一ツハ既ニ實行シテ戴キマシタノデ、今更詳シタハ申上ゲマセヌガ、唯尙今後ノ大臣ノ御考ヲ承リタイと思フノデアリマス、一ツハ交通統制ノ問題デアリ、一ツハ小運送制度ノ問題デアアル、交通統制ノ問題ハ昨今省ニ於キマシテモ非常ニ力ヲ入レ、其ノ實現ニ著手シテ居リマスコトハ私モ承知シテ居リマスノデ、ドウカ今後トモ一層交通統制ノ爲ニ御努力ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマスガ、大臣ハ第二回目トハ申シナガラ、又新シクイラッシャイマシタノデ、殊ニ此ノ問題ハ、此ノ前ノ御在職ノ時分ニハマダソレ程迄出デ居リマセヌデシタノデ、此ノ際此ノ問題ニ關スル大臣ノ御方針ヲ承リタイ、ソレカラ第一ノ問題ハ、是ハ既ニ此ノ前ニ御在職中ニ立派ニ御片付ケ下サイマシテ、既ニ日本通運株式會社ガ成立シ、永年ノ小運送業界ノ統制モ出來上ッタノデアリマス、形ニ於キマシテハ誠ニ整ヒマシタガ、マダ實質ヲ見マスルト必ズシモ其ノ



當時、此ノ會社が出来た時ノ氣持ノヤウニハ參ッテ居ラス、殊ニ一般民衆ニ對スル利便増進ト云フコトニ關シマシテハ、甚ダ物足ラスヤウナ氣持ガスルノデアリマシテ、今後此ノ點ニ關シマシテ如何ナル御考デ御進ミニナリマセウカ、此ノ點モ伺ッテ置キタイ、此ノ二點ヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○國務大臣(前田米藏君) 交通統制ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年ノ議會ニ交通調整法ガ成立致シマシテ、爾來鐵道省ト致シマシテハ、此ノ交通調整ニ非常ナル熱意ヲ以テ其ノ實行ニ努メテ居ル次第デアリマシタガ、政變ガアリマシテ、私鐵道省ニ又職ヲ奉ズルヤウニナリマシテ、前内閣ノ此ノ交通調整ニ對スル熱意ハ矢張り承繼致シマシテ、私モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、議會關係ガ、御承知ノ通りニ政變後直チニ議會ト云フ風ノ爲ニ、マダ其ノ機會ガナイノデアリマスガ、最近ノ機會ニ於キマシテ、御承知ノヤウナ交通調整ノ爲ニハ先ヅ東京、大阪、其ノ他數縣ヲヤルト云フ必要カラ、差當リ東京ニ於ケル交通調整ヲヤラウト云フコトニナリマシテ、此ノ方面ニ於ケル特別委員會モ出來マシテ、數回會議ノ結果、然ラバ交通調整ハドウ云フ

方法ニ依ッテヤルカト云フ、大體方法論ニ迄入ラウト致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ繼續ヲ近イ機會ニ開イテヤッテ行キタイと思ッテ居リマスノデ、事柄ハ頗ル困難デアリ、且重大ノ問題デアリマスガ、今日ノ我が國ノ現狀ト致シマシテハ、交通調整ハ是非共之ヲ實現サセネバナライ重要案件デアリマスノデ、私ハアノ法案ノ成立致シマシタ前當局ノ意思ヲ繼承致シマシテ、此ノ問題ノ解決ニ努力シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二ノ小運送ノ問題デアリマスガ、是ハ男爵モ御承知ノ通りニ私前ニ鐵道ニ居リマシタ時ニ立案ヲ致シマシテ、法律ニナリマシタノハ林内閣、伍堂大臣ノ時デアリマスガ、案ヲ作リマシタノハ私ノ時代デアリマシテ、私ハ深ク此ノ小運送ノ問題、通運會社法案ト云フモノノ出現後ニ於ケル成績ニ付キマシテハ、政治上ノ責任ヲ非常ニ自ラ感ジテ居ルノデアリマス、從ッテ一月早々自分ガ此ノ任ニ就キマスヤ直チニ今迄ノ、最近ノ模様等ヲ聞キマシテ、只今男爵ノ仰セラレル通り或程度迄法律ノ目的ヲ達成シタ點モアルノデアリマスガ、或ハ業界ノ安定デアルトカ、其ノ他色々方面ニ於テ法律ノ目的ヲ達シタ點モアリマスケレドモ、併シナガラアノ

法案ヲ拵ヘマシタ時ノ考ヘ方ト致シマシテハ、國民負擔ノ輕減、小運送料金ノ低減ト云フコトガ大キナ私共ノ狙所デアッタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハマダ満足スルコトノ出來ナイ狀態アルノデアリマス、私ハ其ノ點ニ付キマシテ事務當局ヲシテ十分ニ此ノ點ニ努力ヲ拂ハセルト共ニ、日本通運會社ニ對シテモ正副社長ヲ呼出シマシテ、其ノ注意ヲ喚起サシタヤウナ次第デアリマス、固ヨリアノ法律ガ出來マシテ、日本通運株式會社ガ成立致シタ其ノ時ニ於テ、御承知ノヤウニ事變ガ起リマシテ、物價ノ騰貴、勞銀ノ騰貴等ノ爲ニ諸物價ガ騰貴致シマス時ニ、獨リ此ノ趨勢ニ反シテ小運送料金ダケ下ゲテ行キ、國民負擔ノ輕減ヲスルト云フ爲ニ小運送料金ノ低下ヲ圖ルト云フコトハ至難ノ事業デアルトハ、私共ト雖モ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ何ヲ申シマシテモ、此ノ法律ノ出來タ趣旨ガ所謂小運送料金ノ低減、國民負擔ノ輕減ト云フコトニアリマシタコトヲ思ヒマス、今日ノヤウナ時代ニ於キマシテ、單ニ他ノ物價ガ上ッテ居ルノニ小運送賃ダケガ割合ニ上ラナイ、下リハシナイガ、上ラナイト云フ程度デハ満足出來ナイノデアリマシテ、是非此ノ點ニ於キマシテハ私

ト致シマシテハ、小口貨物ノ一元化取扱デアルトカ、或ハ又都市ニ於ケル所ノ何ト申シマスカ、小運送ノ集約ト云フヤウナ風ニ、仕事ノ運營ノ上ニ於テ改善スベキコトガ多アルト思フノデアリマシテ、斯ウ云フ方面ノ改善ヲ致シマシテ、國民ノ負擔ノ輕減ニ資シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、鐵道當局ト致シマシテモ或ル程度迄ハ忍ブ點ハ忍ビ、共ニ通運會社モ鞭撻致シマシテ、相協力シテ只今御話ノ小運送問題ニ付キマシテノ初メノ出來マシタ時ノ目的ヲ達成シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵大藏公望君 只今ハ大臣カラ極メテ満足スベキ答辯ガアリ、誠ニ有難ウゴザイマシタ、殊ニ後段ニ御述ニナリマシタ鐵道自體ノ改良、鐵道省自身ガ此ノ小運送會社ノ成立ニ伴ッテ爲スベキ改革ト云フモノモ、大イニヤッテ行クノダト云フ話ガアリマシタコトハ、極メテ私共愉快ニ伺ッタノデアリマス、成程一般ノ物價ガ上ルノニ小運送費カシイコトハ固ヨリデアリマスガ、併シナガラ爲スベキコトヲ爲シテ尙小運送費ガ上ルナラ、是ハ已ムヲ得マセスケレドモ、私共考ヘマシテマダ鐵道省サヘ其ノ御積



リニナリマスレバ、相當ニ小運送ノ上ニハ改良スベキ、一般民衆ノ負擔ヲ輕減スベキ目標ニ對シテ改善スベキ事項ヲ殘サレテ居ル、殊ニソレハ可ナリ多クノ部分ガ鐵道省自身ノ御取扱如何ニ依ルト考ヘテ居リマスノデ、豫テサウ思ヒマシタケレドモ、只今大臣カラハッキリサウ云フ風ヲ御意見ヲ承リマシテ、誠ニ愉快ニ感ズルノデアリマス、ドウカアノ會社ガ設立シマシタ趣旨ニ鑑ミマシテ、今後トモ一層ノ御力添ヲ願フト云フコトガ、小運送業界改善ノ使命達成ニ資スルト思ヒマスノデ、十分ト御働キヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノコトヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○男爵久保田敬一君 先程大藏男爵ノ御質問ニ對シテ鐵道大臣カラ御話ガゴザイマシテ、其ノ中ニ東京・下關間ノ輸送力ノ擴充ト申シマス、増大ト申シマスニ付テ御話ガアリマシタ、此ノ問題ニ付キマシテハ非常ニ大キナ問題デモアルシ、又軌幅ノ問題モアルノデ、鐵道省自身デ決メナイデ、一般廣ク世間ノ知識ヲ求メテヤルト云フ大臣ノ御話デゴザイマシタガ、是非ハ非常ニ結構ナコトト思ッテ、是非サウ願ヒタイト思ッテ居ルノデゴザイマスガ、ソレニ致シマシテモサウ云フ案ヲ御立テニナリ、

鐵道省御自身、殊ニ鐵道大臣ニ於テ豫メ假定ヲ持ッテオイデニナリ、全クノ白紙デ以テ之ニ御臨ミニナルトノ少シ違フヤウナ風ニ私ハ承ツタノデアリマス、其ノ第一點ハ、東京・下關間ノ輸送ト云フモノハ段々ニ數量ガ殖エテ來テ、近キ將來ニ於テ必ズ行詰ルトト云フコトト、ソレカラ行詰ルガ爲ニ今迄ノ線トハ別ニ一線ヲ下關迄造ラナケレバナナナイト云フコトノ二ツノコトハ、大臣ハ殆ド無條件ニ御受入ニナッテ居リマシテ、サウシテ其ノ一線ヲ造ル爲ニ之ヲ狹軌ニスルカ、廣軌ニスルカト云フコトガ問題デアルカノヤウニ承ツタノデアリマス、私ハ其ノ二ツノ點ニ付テ大臣ガ……大臣ニ對シテモ甚ダ惡イノデアリマスガ、鐵道省ノ方ガモウ少シ御研究ニナラナケレバナラスノデヤナイカト斯ウ思ッテ居ル、ソレト申シマスノハ、勿論只今東京・下關間ノ交通、殊ニ東京・神戸間ト云フモノハ行詰リマシテ、汽車ヘ乗ッテモ始終座席ガナイ、殊ニヒドイノハ、寢臺券ヲ賣出スト二三分開デ賣切レル、下關迄一等デ旅行スル人ガ寢臺車ガ取レナクテ、展望車デ以テ腰掛ケナガラ行ツタト云フヤウナ例ガアル、殊ニ其ノ外ノ所ニシマシテモ、此ノ頃ハ汽車ニ乗ッテモ座席ガナイト云フ所ガ幾ラモアリマス、サウ

云フ點、ソレカラ貨物ノ點カラ言ヒマシテモ、此ノ儘デ置イタラ輸送量ハ全然行詰ル、現ニ行詰ッテ居ルト御考ニナルノハ無理モナイト思ッテ居ル、之モ亦細カク解剖シテ御考ニナリマス、東京・下關間ガ果シテ全部ガ行詰ッテ居ルカト云フコトヲ考ヘルト、是ハ決シテサウデヤナイト思フ、例ヘバ東京ノ附近ニ致シマシテモ、東京ト沼津間位ハ可ナリ交通ノ爲ニナニガ行詰ッテ居リマス、沼津カラ以西ナドヲ考ヘマス、時間表ニ依ッテ御覽ニナッテモ御分リニナリマスヤウニ、旅客列車ト致シマシテハ一時間ニ一本、或ハ極クヒドイ「ラッシュアワー」ト申シマス、神戶急行ナドノ多ク出ル夜間デアリマシテモ、三十分ニ一本間シカ出デ居ラス、之ニ貨物ヲ入レマシテモ一時間ニ二三本シカ入ッテ居ラナイ、マダ是デ以テ行詰ッタト云フコトハ出來ナイ、大臣ハ鎌倉ニ別荘ヲ御持チニナッテ居リマスカラ、分リマスガ、只今一番列車ノ數ノ多イノハ東京ト大船間デアリマス、之ニハ東海道ノ列車ト、ソレカラ横須賀線ノ列車ガ通ッテ居リマス、之ニ致シマシテモ只今横須賀線ノ列車ハ「ラッシュアワー」ハ十五分ニナッテ居ル、今自動信號ガ出來マシテ、只今デモ列車ノ間隔ヲ五分乃至四分ト云フヤウナ間隔デ出シテ居

ルノガ幾ラモアリマス、殊ニ自動信號ガモット完備シテ距離ガ近クナリ、自動聯動裝置ガ出來マスレバ或ハ二分、三分ノ間隔ヲ以テ列車ヲ出スコトモ難クナイト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ致シマス、例ヘバ東京ト大船間ニ致シマシテモ、只今ノ線路ヲ使ッテモ隨分車輛サヘ殖シサヘスレバ緩和ガ出來ルヤウニ思フノデアリマス、殊ニ沼津以西デアリマス、山陽線ニ至リマシテハ、一時間ニ一本位シカ列車ガ通ッテ居ラナイ、ソレデアリマスカラ是等ノ車輛ヲ殖シテ、サウ云フ停車場ノ設備ヲ良ク致シマシタラバ、只今ノ設備デ只今ノ輸送量ガ増加シマシテモ、コ、十年ヤ二十年デ行詰ルトカ云フコトハ、私ハ到底サウ云フコトハ考ヘラレナイ、尤モ今ノ狀態デハ行詰ッテ居リマスケレドモ、唯東海道、東京・下關間ヲ部分的ニ改良致シマシテ、例ヘバ元ハ非常ニ行詰ッテ居ツタガ、東京・平塚線ニ貨物線ヲ分離シタ爲ニ、是非ハ非常ニ輸送力ガ殖エタト云フヤウナコトモアリマスシ、又大阪附近ニシテモ、名古屋附近ニシテモ、或ハ別ニ其ノ部分ダケ一線ヲ増スト云フヤウナコトニシマス、マダ此ノ線路ト致シマシテハ弾力性ガ非常ニアルト思ッテ居リマス、ソレデ是ガ爲ニ東京カラ下關迄態、

一線ヲ造ラナケレバナラスト云フ程度ニハ至ツテナイト私ハ思ヒマス、是ハ考ヘ方トシテ色々ゴザイマスガ、其ノ中デ廣ク御考ニナルノハ宜シウゴザイマスケレドモ、ソレハ必ズシモ東京・下關間ガ全然今ノ線デハ間ニ合ハナイ、外ノ線ヲ造ラナケレバ間ニ合ハナイト云フヤウニ行詰ツテ居ルト御考ニナルノハ、初カラサウ云フコトヲ前提トシテ「スタート」ナサルコトハ、モウ少シ御研究ニナツタ方ガ宜クハナйкаト思フノデアリマス、サウ思フノデアリマスガ、ソレデ線路ヲ廣軌ニ致スコトニシテモ、或ハ大陸ニ物資ヲ供給シマス爲ニ、廣軌ナラバ車方其儘持ッテ行ケルト云フコトガゴザイマスガ、只今デモ狹軌ノ車ヲ大陸・支那ノ方面ニ随分持ッテ行ッテ居ルノデアリマス、是ハ車軸ヲ少シ擴ゲルヤウナ裝置ヲ致シマス、譯モナク擴ハレマス、ソレデ大陸支那ニ廣軌ノ車ヲ持ッテ行ク爲ニ、東京・下關間ニ別ニ廣軌ノ線ヲ造ルト云フコトハ、是ハ餘程ノ研究モノダラウト思フノデアリマス、ソレガ爲ニ内地ニ於テハ東京・下關間ニ廣軌ガ出來テモ、ソレニハ今七八萬モアリマス所ノモノガ一輛モソレニ入ルコトガ出來ナイ、ソレガ爲ニ新タニ車輛ヲ造ラナケレバナラスト云

フコトニナリマスノデ、此ノ廣軌ニ致シマシテモ餘程考ヘナケレバナラストシ、又ソレガ爲ニ今ノ折角ノ東京・下關間ノ複線ノ線路、立派ニマダ使ヘルダラウト思フヤツヲ、ソレヲ棄テルト云フコトデハアリマセヌガ、ソレ以外ニ又廣軌ナリ狹軌ナリニシロ一線ヲ造ルト云フコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナナイト思フノデアリマス、大臣ガ只今迄方々デ御話ニナツタコトデアリマス、又今日モ仰シヤッタヤウデアリマスガ、此ノ東京・下關間ガ近々ニ輸送力ガ全然行詰ルト云フヤウナコトト、ソレガ爲ニハ別ニ線路ヲドウシテモ造ラナケレバナラスト云フコトヲ前提トシテ御進ミニナルコトハ、非常ニ私ハ影響ガ大キイトスウ思フノデアリマスガ、此ノ點如何デゴザイマスカ

○國務大臣(前田米藏) 御尤ノ話デアリマスガ、私今考ヘテ居リマスコトハ、成ル程御話ノ如クニ東海道、東京・下關ト云フモノヲ考ヘテ見マス、山陽線ノ方ハ左様ニ行詰ツテ居ルノデハナイ、東海道ノ方面デモ、或ハ京都・米原間デアルトカ、或ハ東京・沼津邊ハ一パイデアツテモ、靜岡邊ハマダ空イデ居ルト云フ風ニ、部分的ニサウ云フコトモアリマスルカラ、非常ニ行詰ツテ居ルヤウナ所ヲ部分的ニ改良ヲ致シテ、線路ヲ増

設シテヤツテ行ケバ、サウ云フ行詰ルト云フヤウナ心配ハナイノデヤナйкаト云フ考ヘ方ト拜承シタノデアリマスガ、ソレモ確カニ一説トハ思フノデアリマス、併シ私共ノ考ヘマスノニ、ドウモ我が國ガ大陸經營ニ乗出スト云フ以上ハ、有ラユル場合ヲ想定シテ考ヘナケレバナラストデアリマシテ、將來大陸方面ニ多分ドウ云フ戰爭事變、ドウ云フ事ガ起ルカモ分ラナイト云フコトヲ考ヘテ見マス、我が國ノ國有鐵道ト致シマシテ、最モ重大ナ幹線ダケハ輸送力ニ少クトモ或程度ノ餘裕ヲ持ッテ置カセナケレバナラストデハナйка、何時モ手一パイデ、輸送力ガ所々行詰ツタ所ヲ線路ヲ増設シテ、膏藥貼リヲヤツテ、其ノ時々々々ノ間ニ合セテ行クト云フコトヲヤルヨリハ、大キナ日本ノ將來ノ使命ヲ考ヘマス云フト、或程度迄運輸力、輸送力ニ餘裕ヲ持ツシテ置キ、一朝事變ノ時ニ至ツテハ全能力ヲ發揮サスト云フコトガ必要ノコトト思フノデアリマス、又サウ云フコトガ假ニナイト致シマシテモ、我が國ニ於ケル最近ノ生産擴充其ノ他ノ問題ヨリ物資ノ動キ、人ノ動キト云フモノノ著シキ増加ハ、今日迄ノ統計ヲ超越シテノ増加振リデアリマス、或ハ逆ナコトガナイトハ限リマセヌガ、併シナガ

ラ先ツ我々ノ今ノ見透シト致シマシテハ、大體ニ於テコ、十年ノ後ニハ今日ノ線路ヲ以テシテハ、所々ノ改良ヲ爲シ、車輛ノ増加ダケヲ以テシテハ、運輸ノ行詰リヲ生ズル虞ガアルノデハナйкаト云フ風ニ私共ハ考ヘマシテ、先程申シタヤウナ風ニ申シタノデアリマス、又是ガ行詰ツタ東京・下關間ヲ急ニヤルト云ツテモ、三年ヤ四年デハヤレナイノデアリマシテ、當局ト致シマシテ將來ヲ考ヘマス、相當ノ歲月ヲ要スル大事業デアリマスカラ、今ニシテ遺憾ノナイヤウニ研究モシ、立案モスルト云フコトガ必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今ノ御心付ケハ、私共トシテモ一ツノ立派ナ御説トシテ拜聽シテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角私共ノ今ノ考ヘ方カラ申シマス、ドウモ行詰ル虞ガアルカラ、一本付ケル方ガ將來ノ爲ニ宜イノデハナйка、斯ウ云フ風ナ考ヲ有シテ居ルノデアリマス、併シナガラソレニ致シマシテモ、ソレデアルガ故ニ廣軌ト云フコトノ豫斷ヲ以テヤルノデハナイノデアリマシテ、白紙ノ狀態デ、私共トシテハ軌幅問題等ニ付テハ皆學識經驗アル方ノ協力ヲ得テ、各般ノ方面カラ研究ノ結果一定ノ成案ヲ得タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマシ

テ、ドウモ東京・下關間ヲヤルト云フノヲ白紙デヤツテ、サウシテ軌幅ヤ其ノ他ヲ協議スルト云フコトモドウカト思ヒマスガ、私共トシテ東京・下關間ニハヤリタイ、斯ウ云フ風ノ考ヘ方カラヤルトスレバドウ云フ軌幅ヲヤルカ、ドウ云フ風ニヤルカ、ドウ云フ「ルート」ヲ通ルカト云フ幾多ノ問題ヲ研究シテ戴キタイ、斯様ニ今ノ所デハ考ヘテ居ルノデアリマス、折角ノ久保田男爵ノ御心付ケデアリマスカラ、私共モサウ云フ點ニ付テ尙十分ノ注意ヲ致シマス

○男爵久保田敬一君 東京・下關間ノ輸送力ヲ殖ス方法トシテハ、一線ヲ別ニ造ル方法モアルシ、ソレカラ只今ノ線ヲ強化シテ行ク方法モアルト思ヒマス、必ズシモ東京・下關間ニ一線ヲ別ニ造ラナケレバナラヌト云フコトヲ、今カラ斷定的ニ極メテシマフト云フコトハ、少シ御考ヘ過ギヂヤナイカト思フ、併シ色々ノ説ヲスッカリ集メテ、最善ノモノヲ造ラウト云フ大臣ノ御考デアリマスカラ、其ノ點ハ成ルベク氣持ヲ廣クナスツテ、東京・下關間ノ現在ノ線路ヲ強化スルコトモ、新シイ線路ヲ造ルニ劣ラナイ所ノ案デアルト云フヤウナ、公平ナ立場カラ御研究ニナラムコトヲ切望致シマス、ソレカラ先程大藏男爵カラ御質問ガアリマシタ

コトデアリマスガ、私設鐵道ニ對シテ物資ノ供給ヲモット樂ニシタラ宜カラウト云フ御話ガアリマシタガ、現ニ東京ノ附近、大阪ノ附近デ以テ軍需工業ノ盛ナ所アタリハ、私設鐵道ノ運輸ノ有様ト云フモノハ實ニヒドイモノデアアル、東京ノ山手線ドロデハナイ、東京ノ山手線アタリモ隨分込ミマスガ、省ノ車ガ隨分多く、彈力性ガアリマスカラ、多イ時ニハ殖スト云フコトガ出來マシタガ、小サイ會社ニ於キマシテハ全ク車ガ行詰ツテ、ドウニモ斯ウニモナラナイ、定期ヲ持ツテ居ル者デモ始終乗後レテ、工場ヘ行クノニ急グ爲ニ地獄ノ有様ヲ呈シテ居ルト云フ有様デアアルノデアリマス、ソレガ何ノ爲ダト云フト、車ガ足りナイ爲デアアル、鐵道省ハ今非常ナ車ノ増備計畫ヲ爲サイマシテ、今年モ一億二千萬圓モ車ヲ御造リニナルト云フコトデアリマスガ、私設鐵道ハ前ニハ車ヲ造ラウト思ヘバ多少出來タシ、又鐵道省ノ拂下モ多少アツタノデスガ、此ノ頃ハ鐵道省ノ拂下モ段々ナクナリ、新シク造ラウトシテモ資材ガナイト云フ有様デ困ツテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シテハ鐵道省ガ只今増備ナサルダケノ割合トハ行カナイカモ知レマセヌケレドモ、餘程御考ヘニナツテ、サウシテ資材ノ供給ナリ、又車ノ拂下

ヲシテ御ヤリニナラナイト、非常ナ惡イ狀態ヲ生ズルダラウト思フノデアリマス、先程交通統制ノ御話ガゴザイマシタガ、交通統制ノ目的ト云フモノハ、利用者ノ利便ヲ圖ル爲ガ主ナモノダラウト思ヒマスガ、長イ間ノ交通統制デ以テ大臣ノ理想トナサイマスヤウニ、一枚ノ切符デ以テ何處ヘデモ行ケルヤウナ交通統制ガ出來タラ非常ニ宜イト思ヒマスガ、此ノ交通統制ヲ作リ上ガルノニ隨分時日ガ掛ル、ソレドロデハナイ、私設鐵道ハ非常ナ有様ニナツテ居リマスカラ、交通統制ニ依ル所ノ利益ヲ得ルト同ジヤウナ御考デ以テ、私設鐵道ニ對シテ十分ノ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ、是ハ監督局長カラデモ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

ヲ説キマシテ、其ノ緩和方ヲ願ヒマスト共ニ、最善ノ努力ヲ拂ヒマシテ其ノ供給方ヲ圖ツテ居ルノデアリマスガ、先ヅ第一ニ我々ト致シマシテハ、運轉保持上必要ナモノハ是非ヤツテ、所謂交通上ノ安全ヲ期シタイ、又次ニハ交通事業ノ激増ニ向ツテ、ソレニ備ヘタイト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、何分昨年度ニ於キマシテ鐵鋼ノ如キハ平年ノ五分ノ一位ノ供給ヲ受ケタニ止リ、銅ニ於キマシテモ約半分位デアリマスシ、車輛ニ必要ナル米松ニ於キマシテモ八割位ノ供給キリ受ケテ居ラナイノデアリマス、唯昨年ニ於キマシテハ各會社ニ於キマシテ手持ノ品ガ相當アリマシタノト、車輛會社ニ於キマシテモ手持ノ鐵鋼ヲ持ツテ居リマシタノデ、實際會社ガ得マシタ所ノ車輛ニ付テ見マスルト、昨年ヨリハ落チテ居リマスガ、サウ開キハナイノデアリマスガ、ソレハ偶々マク車輛會社ト手持ノ材料デ契約シ得タノデアリマシテ、鐵鋼ノ割當デ各社ガヤリマシタ車輛カラ見マスルト、非常ニ少イノデアリマス、省ニ於テモ今後モ一層努力シマシテ、激増シテ來マシタ所ノ此ノ輸送客ニ對シ出來ルダケノ車輛ヲ供給シタイト、關係官廳ヘ交渉スル積リデアリマスガ、如何ニセシ必要ナ物資ガ相當制限ヲ受ケテ居

○政府委員(鈴木清秀君) 只今久保田男爵カラ申サレマシタ通り、物資ノ制限ヲ受ケマシタ結果、甚ダ私設鐵道ニ供給致シマス物資ハ不足ヲ告ゲテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ公衆ニ來シマス所ノ不便モ相當ナモノデアリマスシ、會社ニ於ケル苦痛モサルコトダト思ツテ、我々大イニ心配シテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ我々ノ方ニ於キマシテモ關係省ニ向ツテ其ノ必要ナル所以

リマスノデ、思フヤウニ行カヌコトヲ残念ニ思ヒマス

○男爵久保田敬一君 鐵道當局ガ御努力ナサツテ居リマスコトハ感謝致シマスガ、我々が想像スル以上ニ非常ニヒドイ有様デアルト云フコトヲ、監督局長デモ自分デ朝ノ出勤時間ニ行ツテ御覽ニナツテ、實情ヲ能ク御覽ニナツテ同情ヲ、……會社ニ同情スル譯デハアリマセヌ、其ノ利用者ニ同情シテヤツテ戴キタイト切望致シマス、ソレカラ車輛ノコトニ付キマシテ序ニ申上ゲマスガ、是ハ關係ノ政府委員カラ御答ヲ戴ケバ結構ト思ヒマスガ、丁度鐵道大臣モ御出ニナリマスカラ、少シ聽イテ戴キタイト思ヒマシテ簡單ニ申上ゲマスガ、鐵道省ノ車輛ノ増備計畫ト云フモノハ、大變立派ナモノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ今年モ一億二千萬圓ノ豫算ヲ取ツテ居ラレル、昨年七千萬圓カラノ車輛ガ出來マシテ、私共ハ是ダケノ車輛ガ果シテ一年ニ出來ルカドウカト疑ッテ居ッタノデアリマスガ、マア完全トハ行カナクテモ、大部分ソレガ出來サウニ思フノデアリマス、只今鐵道省ノ持ッテオイデニナル貨車ノ數ハ、七萬臺カラ八萬臺ノ間デアラウト思フノデアリマス、是ガ段々増備致シマシテ、今後一年ニ五千輛トカ、或ハ是

カラ先ハ一萬輛ヅツ御殖シニナツテ、是ハ結局十萬輛計畫ト云フモノデアラウト思ッテ居リマスガ、此ノ十萬輛ニ達シマスルノハ、昭和十五年ノ末デスカ十萬輛ニナルヤウナ計畫ダト思フノデゴザイマスガ、唯茲ニ心配ニ思ヒマスコトハ、車輛ニ付テ十萬輛御殖シニナル、一年ニ一萬輛拵ヘヨウト思ヘバ出來マスケレドモ、此ノ車輛ガ出來タ曉ニ、之ヲドウ云フヤウニ御使ヒニナルカト云フコトヲ我々非常ニ心配ニ思ヒマス、ソレハ之ヲ動カス處ノ線路、停車場ト云フモノガ到底間ニ合ハナイ、只今豫算ニ車輛ノ増備費ダケ載ッテ居リマスガ、之ニ伴フ線路、停車場ノ費用ト云フモノガ、殆ドソレニ匹敵スルモノガ載ッテ居ラス、ソレデ結局専門家ノ見ル所ニ依レバ、十萬輛ノ車輛ガ十五年ニ出來タ曉ニハ、車ハ出來タケレドモ、ソレハズツト列ンデ動カナイ、何處カヘ止マツテ居ルノデハナイカト云フ風ナ見方ヲシテ居ル者モアリマス、車輛ハ造ラウト思ヘバ一年デ直グ出來マスケレドモ、停車場トカ線路ト云フモノハ、用地買收デアルトカ、ナカ／＼ムヅカシイモノデアリマシテ、急ニハ出來ナイノデアリマス、ソレデ只今ノ狀態ニアツテモ、既ニ所謂理想上ノ停車場ト云フモノニ對シテハ車ノ數ガ多

過ギテ停車場ガマダ間ニ合ッテ居ラナイ、然ルニ車輛ガ十萬輛ニモナリマシテ、サウシテ只今著手シテ居リマス所ノ停車場ハ或ハ八ツデアルトカ、十デアルト云フモノガ、十六年度位ニナラナケレバ完成シナイト云フコトニナリマスナラバ、十五年度ノ末アタリデ貨車ガ十萬輛ニモナツタ時ニハ、誠ニ恐ルベキ結果ヲ來シ、折角貨車ヲ造ツタケレドモ、是ガ全然ドウニモ斯ウニモナラヌト云フヤウナ狀態ニナリハシナイカト思フノデアリマス、無論其ノ中ノ或部分ハ大陸方面ニ資材供給トシテオヤリニナルガラウト思ヒマスケレドモ、此ノ車輛ノ増備ト云ヒ、ソレカラソレヲ動カス所ノ線路、停車場、停車場ノ擴充計畫等ガ並行シテ行カナイト云フコトハ非常ニ跛ノ計畫デアリマシテ、ドウモ之ヲサウ云フ方面カラ考ヘテ見マスト、誠ニ合點ガ行カナイヤウニ思フノデアリマス、ソレデ私ノ伺ヒタイト思ヒマスノハ、此ノ車輛、貨車ノ増備ト、停車場ノ擴張ト照シ合セテ見マシテ、此ノ際車輛ノ方ヲ多少減ジマシテ、サウシテ停車場ハ停車場ノ方ニ其ノ費用ヲ増シテ、今カラ手ヲ御著ケニナラナケレバ、昭和十五年乃至十六年頃ニハ非常ニ作業ガ困難ニナツテ、只今申シマスヤウニ、車輛ハ出來タケレドモ、

線路ノ上ニ遊ンデ居ルト云フヤウナ結果ヲ來シハセヌカト心配致シマスケレドモ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ、ソレカラ又停車場ノ停車場ノ工事ト云フモノハ、非常ニ今迄デモナカ／＼長年月ヲ要シテ居ッタノデアリマスガ、之ヲ何トカシテ此ノ際早ク造ル工夫ヲシナケレバ、車輛ノ出來ルノニ間ニ合ハヌ、只今迄デモ豫定ノ時ヨリハ完成ガ遅レタノデスガ、其ノ遅レルノニ反對ニ、今度ソレヲ早クスル工夫ハ……何トカ工夫ハナイモノカト思フノデスガ、其ノ點如何デゴザイマセウカ、ソレカラ只今……先程申上ゲマシタヤウニ全國ノ主要ノ停車場及停車場ニ付テノ改良ノ豫算ガ出テ居ルノガアリマスガ、是ガ非常ニ少イ、全體ノ、全國ノ主要停車場ヲ寄セマシテ三十箇所以上モアルノニ、只今十六年度ノ末アタリ迄ニ完成致シマス停車場ノ擴張ト云フモノハ十トハナイ、アトノ二十モアリマス所ノ主要ノ停車場デアルトカ、又其ノ他ノ驛ノ停車ニ必要ナル所ノ設備ト云フモノハ、ドウ云フヤウニスル御考デアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ一ツ關係ノ政府委員カラデモ……

○政府委員(山田新十郎君) 只今御尋ノ、如何ニ車輛ヲ増備シテモ、之ニ伴フ設備ノ

計畫ガ是ト對應シテ居ナケレバ何ニモナラヌデヤナイカ、此ノ點ニ付テドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマス、我々トシテモ勿論其ノ御意見ニハ同様ノ感じヲ持ッテ居ル次第デアリマシテ、省内ノ各關係者ノ委員會ヲ開催致シマシテ、輸送力ニ對シテ輸送量ニ對シテ、ドレダケノ車輛ガ要ル、又此ノ車輛ヲ動ス爲ニハ、ドレダケノ線路容量、或ハ驛等ノ輸送設備ノ擴充ヲ行ハナケレバナナイト云フヤウナ點ニ付キマシテ、隨分詳シク突込シテ研究ヲ致シマシテ、十四年度トシテハ、此ノ程度ノ計畫ヲ立テ次第デアリマシテ、將來ニ付テモ相當ノ計畫ハ持ッテ居ル次第デアリマスガ、其ノ點ハ我々トシテモ最モ心配シテ居ル點デアリマスノデ、車輛ガ折角出來テモ、ゴロ／＼遊ンデ動カセナイト云フヤウナ狀態ガ出來ナイヤウニ十分ニ注意ヲシテ計畫ヲ立テ、居ル次第デアリマス、只今操車場ノ計畫ニ付キマシテモ、或ハ十五年度、十六年度ト云フヤウニ遅イデヤナイカ、ソレ迄ニドン／＼車ガ出來ルガドウスルカト云フヤウナ御尋デアリマシタ、勿論完成年度ハサウデアリマスガ、車輛ノ増備ニ件ヒマシテ、ソレ等ノ操車場ノ機能モ漸次擴充ヲサレテ行クト云フヤウニ私共考ヘ

テ居ル次第デアリマシテ、此ノ點ハ兩方トモ睨ミ合セマシテ萬遺漏ナイヤウナ計畫ヲ立テ、參リタイト思ッテ居リマス、尙工事ガ遅レ勝チデアッテ、何トカ早クナラナイカト云フ點デアリマスガ、是ハ工務局長カラ申上ゲマス

○政府委員(阿曾沼均君) 今、久保田男爵

カラ操車場ノ工事ガ、何トカモット工夫ヲシテ早クシナケレバ車輛ノ増備計畫ト伴ハヌデヤナイカ、何カ早クヤル工夫ハナイモノカト云フ御尋デゴザイマスルガ、私共ハ今日ノ此ノ資料ノ供給ノ不十分ナコトヲ考ヘマシテ、有リト有ラユル代用品ヲ使フトカ、其ノ他色々工夫ヲ致シマシテ、車輛ノ増備計畫ニ付キマシテハ運輸局其ノ他ト能ク聯絡ヲ取リマシテ、出來ルダケ計畫ヲ期限内、ソレヨリ早クヤリタイト努力シテ居ル次第デアリマス

○男爵久保田敬一君 只今ノ御説明ノ通り

デハ非常ニ結構ト思ヒマスガ、唯茲ニ十分注意シテ戴カケレバナラヌコトハ、車輛ハ造ラウト思ヒマス六箇月デモ出來ルシ、只今迄大抵計畫通りニ一年間ニ造ラウト思ヘバソレガ出來タ、併シ土木工事ハ、是ハ期限内ニ出來タ試シハ一遍モ無イ、必ズソレハ遅レルノデ、先程ノ樞原神宮ノ神苑擴

張工事ノ模様等ニモ分リマス通り、アレ程

必ズ期限内ニ、來年迄ニヤラナケレバナラヌト云フ工事デモ遅レル、此ノ鐵道ニ關係アリマス所ノ土木工事デモ、殊ニ用地買収トカ色々ノ關係カラシテ必ズ遅レルモノデアリマス、デ此ノ點ハ只今ノ御説明ノヤウデアリマス丁度ウマク行クヤウデアリマスケレドモ、若シ是ガ遅レタ場合ニハ非常ナ不都合ヲ生ズルノデアリマスカラシテ、第一ニ遅レナイヤウニ御注意ヲ願ヒタイコトト、又遅レテモ多少餘裕ノアルヤウナ計畫ヲ爲サルコトガ必要ダト存ジテ居ルノデアリマス、只今ノヤウナ御説明ノヤウナモノデ以テ、車輛ノ増備ガ出來ルヤウナラバ非常ニ結構ダト存ジテ居リマス、是デ私ノ質問ハ終リマス

○今井五介君 私ハ時局ノ下、各種ノ事業

ヲ整理、統制スルノ今日地方的ニ交通上遺憾ナ點ガ多アルト思ヒマス、其ノ一例ハ省營「バス」、岡谷・上諏訪・鹽尻間ニ於ケル省營「バス」ト私營「バス」トガ非常ナル競争ヲ爲シ、雙方共ニ得ル所ガナイヤウニ私共ハ見デ居ル、之ニ對シテ地方的ニモ、國家的ニ見テモ誠ニ無駄ナコトデアルト云フコトデ、恐ラクハ之ニ對シテ鐵道道ニハ陳情モアッタト思ヒマスガ、此ノ兩者ガ其ノ競争

ノ爲ニ便宜ヲ得レバ宜イガ、ソレ程乗ル人モナイト云フコトデ、或時期トハ申シマセヌ、多クハ省營「バス」ノ如キハ人ガ乗ッテ

居ラスデ、運轉手ダケテ歩クヤウナコトハ度々見ラレルノデアリマス、斯カルコトハ誠ニ遺憾ノヤウニ思ッテ居リマシテ、今ニモ是ガ何トカ御處置ニナルト思ッテ居ルノニ今ニマダ是ガ運轉ヲシテ居ル、果シテ省營「バス」ノ必要ガアルカト云フト、私營「バス」

デ事足リルト思フノデアリマス、斯様ナ無謀ナ競争ハ誠ニ遺憾ニ存ジマス同時ニ、今日血ノ一滴ト「ガソリン」ノ一滴ト言ハレルヤウナ尊イ此ノ燃料ノ上ニ於テモ、何等カ御考ヲ戴キタイト斯ウ考ヘル次第デアリマスガ、之ニ對シテ御省ニ於テ既ニ何等カノ御詮議ガアレバ結構デアリマスガ、ドンナ事情ニナッテ居ルカ、チョット伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(山田新十郎君) 只今省營自動車ノ經營ニ付キマシテ御尋デアリマシテ、特ニ民間ノ自動車業者ト省營自動車トガ殆ド同一路線ヲ走ッテ居ルヤウナ所デハ、今日ノヤウナ「ガソリン」規正ノ時代ニ於テハ、何トカ考ヘルベキデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御尋ノヤウニ拜承致シタノデアリマス、省營自動車モ成ル程民間業者ト竝行シテ居

ルノモアリマスガ、大部分ハ極ク短イ區間ガ民間ノ業者ト竝行シテ居ルノガ殆ド大部分デアリマシテ、只今御示シニナリマシタ諏訪線ノ岡谷附近ノ自動車ハ、是ハ其ノ中デモ省營自動車ト竝行シテ走ッテ居ル殆ド唯一ノ例ト申上ゲテモ差支ナイト思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ我々トシテモ色々業者トノ運轉回數ノ協定其ノ他ニ付キマシテ、色々協議ヲ致シマシテ、我々トシテハ、業者ト競争シテ迄モ省營自動車ヲ運行シヨウト云フ考ハ無イノデアリマシテ、只今ノ御話ヲ伺ヒマシテモ、民間ノ方ガ非常ニサウシタ効率ガ良クテ、省營ノ方ガ非常ニ惡イヤウナ御話ヲ伺ッテ居ルノデアリマスガ、是等モ省トシテハ別ニ競争的ノ態度ニ出テ居ラナイト云フヤウナ或ハ一ツノ證左デハナイノカ、斯ウ云フ風ニ我々ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙地方ノ事情其ノ他モアリマスルシ、又從來ノ色々ナ經緯モアル關係モアリマシテ、例ヘバ省營ト致シマシテハ、道路ノ改修ニ付キマシテ關係府縣ト交渉致シマシテ、道路改修ノ費用ヲ分擔ヲ致シテ居リマストカ、色々ナ關係ガアルノデアリマシテ、我々トシテハ尙サウ云フ風ナ點ニ付キマシテハ、將來能ク研究ヲ致シテ参リタイト思ヒマス

○今井五介君 只今御答ニ依ッテ私カラ申上ゲタイコトハ、全ク岡谷、上諏訪間ハマダシモデハアリマスガ、鹽尻ニ達スル省營「バス」ハマア私偶、アスコヲ通過致シマスガ、乗車ハ殆ド見受ケナイ時ガアリマス、斯カルコトヲヤルノハ全ク無駄デアラウト思ヒマシテ、ドウカ其ノ邊ハ篤ト御調査ノ上、マア國家的ノ見地カラ見テモ御考ヘ然ルベシト思フノデ、申上ゲタ次第デアリマス

○松本勝太郎君 チョット私ハ只今ノニ關聯シマシテ、是ハ監督局長カラ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今今井委員ノ御尋ニナリマシタヤウナ省營「バス」ト民間「バス」トノ競争ト云フヤウナコトモ、地方ニハ段々其ノ例ハアルノデアリマスガ、又民間同士ニ於キマシテモ、之ヲ此ノ「ガソリン」節約ノ時代ニ於キマシテ統制スル必要ガアリ、又ドウシテモ統制セネバナラヌ問題ガ地方ニハ澤山アルノデアリマス、ソレニ付キマシテ私ハ御尋ネ申シタイノハ、先程大藏男ノ交通事業統制ニ付テノ御尋ニ對シテ、大臣カラノ御答辯モアッタヤウデアリマシテ、昨年ノ議會ニ於テ交通統制ノ法案ガ此ノ議會ヲ通過致シマシタ、既ニ法令モ發布サレ、委員モ御任命ニナリ、著々其ノ法ニ依ル所ノ運用、活動ハモウ既ニ著々トシ

テ進ンデ居ルモノト我々信ジテ居ルノデアリマス、尤モ只今大臣ノ説明中ニモアリマシタガ、六大都市ヲ最初ニヤッテ居ルト云フヤウナ御言葉モアリマシタ、又法案審議中ニモ其ノ事ハアリマシタガ、六大都市モ急グデアラウガ、地方ノ問題ニ付テモ非常ニ急グト我々考ヘマシテ御尋ヲ其ノ當時致シマシタラ、地方ニモ及ス積リデアル、斯ウ云フコトデアッタノデアリマス、當時アノ法案ガ出マシタ時ニハ我々非常ニ期待ヲ持ッテ居リマシタ、モウ直グデモ、アノ法案ガ通過シマシタナラバ、活動ヲ開始サレルモノト我々期待シテ居ッタノデアリマス、ドウモ其ノ後ノ様子ヲ見マスト云フト、誠ニ緩慢ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、先ヅ私ハ伺ヒタイノハ、現在ドノ程度ニ成績ヲ擧ゲツ、アルカト云フコトニ付キマシテ、今一應詳シク一ツ監督局長カラ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(鈴木清秀君) 地方ニ於キマス民間ノ「バス」ハ同一路線ヲ走ッテ居リ、或ハ竝行セル道路ヲ走ッテ居ル、或ハ地方鐵道ノ軌道ニ竝行シテ走ッテ居ル場合ニ於キマシテ、何等カ交通調整法ヲ發動シテ調整サレルコトガ、今ノ時局ニ即シテ居ルノデアルト云フヤウナ御考ノ下ニ御質問アッタコトダト存

ジマスルガ、全ク「ガソリン」消費規正ガ可ナリ強クナッテ参リマシタノデ、現在ノ如ク地方鐵道、軌道ト竝行シ、或ハ「バス」等ノ間ニ於キマシテ竝行ニ走ッテ居リマスルコトハ、非常ニ業者自身ニ於テモ苦痛ノコトデアリ又國家的ニ見テモ不經濟ナコトダト思ヒマシタノデ、昨年ノ夏全國ノ保安課長交通課長ニ御集リヲ願ヒマシテ、ソレハ各局單位デ御集リヲ願ヒマシタガ、斯ウ云フ區間ニ於ケル竝行ノモノハ成ルベク自發的ニ、サウシテ互ヒノニ有效的ニ共同ヲシテヤルヤウナ方法ヲ講ジテ貰ヒタイ、其ノ方法トシテハ共同經營ノ方法モアラウ、共同經營ヲスルナラバ斯ウ云フ方法ガ宜イダラウ、或ハ運輸協定ヲ結ブナラバソレデモ宜カラウ、運輸協定ヲスルナラバ斯ウ云フ方法ガ宜イダラウ、或ハ其ノ機運ガ非常ニ熟シテ、業者自身ガモウ合同出來ルヤウナ場合ダッタラ合同デモ宜イダラウ、併シナガラソレハ事業等ノ沿革モアルシ、其ノ地方ノ狀況ニモ依ルコトダシ、交通事情ニモ依ルコトダラウカラ、一概ニ行カナイ、ソコ等ノ點ヲ能ク含シデ、又色々ナ經緯モアルカラ、鐵道省ノ監理官トモ能ク打合セラシメ、斯ウ云フ「ガソリン」消費規正ニ依ッテ業者モ苦ンデ居ルダラウ、無駄ナコトデモアルカラ、オ互

ニ其ノ點ヲ宜クシテ吳レト、斯ウ云フ話ヲ申シマシテ、是ハ交通調整法ノ趣旨ニモ適テ居ルノデアルカラ、其ノ積リデ願ヒタイト、斯ウ云フ御話ヲ申上ゲマシテ、交通調整法ノ發動デハアリマセヌガ、交通調整法ノ精神ニ依リマシテ全國ニサウ云フ呼掛ケヲ致シマシタノデゴザイマス、幸ヒ地方ニ於キマスル所ノ長官モ御骨折下サイマシテ、非常ニ其ノ效果ガ舉リマシテ、問題モナク割合ニ圓滑ニ、サウ云フ色々ナ方法ニ依ッテ並行路線ノ經濟的運行方法ガ行ハレテ參ッタノデアリマス、只今調整法ガ公布サレ施行サレタナラバ、直グ全國ニ行クノデアアルノニ、何故ニ其ノ地方ニ其ノ調整法ノ發動ヲ及シ、或ハ調整委員會ガ活動シナイカト云フ御質問モゴザイマシタガ、調整法ノ際ニモ申上ゲマシタ如ク調整法ハ全國到ル處全國ニ向ッテ施行サレテ居ルノデアリマスカラ、ドノ土地ニモ適用サレルノデアリマスルガ、唯調整法ヲヤリマスル場合ニハ調整區域ヲ決メマシテ、サウシテ其ノ調整區域内ノ事柄ヲ綜合的ニ各交通機關ヲ調整シテ行キマス關係上、可ナリ其ノ調整區域内ニ於キマスル所ノ業者ノ狀態、或ハ交通事情ノ狀態、或ハ施設ノ狀態、今後ニ於ケル交通ノ流れニ對スル適應策ト云フヤウナモ

ノハ、時々研究調査シナケレバ實際ハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ關係カラ又今ノ人手ノ關係モアリマシテ、全國ニ行成リ行フ譯ニハ行キマセヌノデ、先程大臣ガ申サレマシタ如ク此地方ニ付キマシテ大體ノ調査ヲヤリ、中デモ一籌最初ニ、帝都デモアルシスルカラ、東京カラ著手シテ行ッたら宜イダラウト云フ交通調整委員會ノ意見モゴザイマシテ、先ヅ東京ヲ所謂交通調整法ノ發動ニ依ッテノ調整ニ對シテ取掛ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デゴザイマシテ、其ノ委員會モ先程申サレタ如ク特別委員會ヲ三回開催致サレマシテ、大體ニ於キマスル所ノ目安トシテノ調整區域ハ、都心ヲ中心トシテ三十「キロ」乃至四十「キロ」範圍デ以テヤラウドヤナイカ、其ノ中ニ於テドウ云フ調整方法ヲ行ヒ、ドウ云フ具體的方法ヲ行フカハ是カラ段々審議サレテ行クモノダラウト思フノデアリマス、サウ云フ譯デゴザイマシテ所謂地方ニ於キマスル、東京ニ於キマシテハ交通調整法ヲ發動致シマシタガ、アノ法律施行ノ結果ニ於テ、其ノ精神ト云フモノハ相當ニ全國ニ行互リマシテ、全國ノ地方廳並ニ鐵道省モソレニ副フタ調整法ヲ行ッテ居ルト考ヘテ居リマス

○松本勝太郎君 御説明ニ依ッテ大體承知

サレマシタガ、地方ニ於ケル實情トシマシテハ、先程申シマシタ通りアノ調整法ニ依ッテ、其ノ御説明中ニモ、地方廳ニ於テハ御盡力ニナッテ居ルト云フコトハ、承知シテ居リマスルケレドモ、ナカ／＼其ノ實際問題トシマシテハ效果ガ舉ッテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、實際ノ問題トシテハ、合併スルニシマシテモ買収スルニシマシテモ、ナカ／＼困難ガ伴ヒマシテ、事實事績ノ舉ルコトガ少イヤウニ思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ只今ノ統制法ナルモノノ、現在ノ活動程度ヲ御尋ネ致シマシタノハ、アノ法ニ於テ不備ノ點ガアレバ、モウ一ツ補ハレテ、之ヲ合併シ買収シト云フヤウナ場合ノ交渉ノ起キマシタ場合ニハ、監督官署ノ命令ニ從ハシムベク今少シ強制的ノ意味ニアノ法ヲ活用サレルカ、或ハ別ニ法ヲ御設ケニナルカ、監督官署ノ命令ニハ絕對ニ服從シナケレバナラスト云フヤウナ強制的ノモノガ必要デハナイカ、サウデナイトドウモ實際ノ成績ガ舉ラナイデヤナイカト云フヤウナ考ヲ持ツノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ今一應……

○政府委員(鈴木清孝君) 地方ニ於キマシテ、殊ニ「ガソリン」關係カラ起キマシタ所ノ「バス」ノ相互間ニ於キマスル共同經營、其

ノ他ニ對シマスル調整方法ニ於キマシテハ、地方長官ノ御骨折ニ依リマシテ、我々ハ豫期シタ以上ニ好イ成績ヲ舉ゲツ、アルト考ヘテ居ルノデアリマス、唯偶、御話ノ通りニナカ／＼簡單ニハ行カナイモノデゴザイマスルカラ、弊害ガアルニモ拘ラズ合併ガ出來ナカッタリ、或ハ運輸協定スラ出來ナイ地方モソレハアルトハ存ジマスルガ、概シテ申上ゲマスルト、地方長官ノ御骨折ニ依ッテ非常ナ好成績ヲ得テ居ルモノト我々ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、其ノ監督官廳ノ命令ニ依ッテ會社ノ合併ガ出來ルヤウニ現行調整法ヲ改正、又ハ他ノ方法ヲ講ジテト云フ御話デアリマスルガ、調整法ヲ御審議願ヒマシタ時ニ申上ゲマシタ如ク會社ノ新設、合併ヲ命令スルコトハ、現行法ノ建前ト致シマシテハムツカシイノデゴザイマシテ、格段ニサウ云フ命令デヤラナケレバナラスト場合ガアリマスカラバ、特殊立法デ行ク方ガ穩カデナイカト、當時色々法律専門家ノ意見ヲ伺ヒマシタ時ニ言ハレタノデアリマスガ、現在ニ於キマシテハアノ調整法ニ依ッテ大體ノ目的ヲ達シテ行クノデハナイカト云フヤウナ考デ以テ進ンデ居ルノデアリマス、所謂合併及新設ヲ命令スルヤウニ現行ノ調整法ヲ改



正ショウトスル意思ハ、今ノ所ナイノデゴ  
ザイマス

○松本勝太郎君 只今御説明ヲ承リマス  
ト、地方廳ノ盡力ニ依ッテ相當效果ハ擧ゲツ  
ツアルト云フ御言葉ハ、確カニ私ノ言葉ハ  
先程足リマセヌデシタガ、ソレハ相當アル  
ノデアリマス、其ノコトハ認メラレルノデ  
アリマスガ、茲ニ監督官署ノ強制的ノ力ヲ  
強化セシムル方法ガナイ爲ニ、遺憾ナガラ  
監督官署ノ力ニ及バヌ點ガアリハシナイ  
カ、現ニサウ云フ問題ニ逢著シテ居ル點ガ  
多々アルノデアリマス、例ヘバ此處ニ自動  
車ノ競争線ガアリマシテ、買収ショウトス  
レバ非常ニ不當ナ價格ヲ唱ヘル、勿論合併  
ハ困難ダト云フヤウナコトデ、無益ノ競争  
ト言ヒマスカ、ガソリンノ節約ノ今日ノ時  
代ニ於キマシテ、ソレガ一線デ事足ルニモ  
拘ラズ二ツノ會社ナリ、三ツノ會社ナリガ  
競争シテ居ル爲ニ、實際ニ於テ「ガソリン」  
ヲ無用ニ消費シテ居ルト云フ結果ニナッテ  
居ル、是ハモウ何ト言ッテモ争ハレナイ事實  
ガ各所ニ現レテ居ルノデアリマス、現ニ先  
程今井委員カラモ一例ヲ擧ゲテ申サレタ如  
ク、省營ト私營トガ既ニ無益ノ競争ヲシテ  
居ルト云フカ、同ジ線ヲ營業シテ居ルト云  
フコトハ、モウ「ガソリン」ヲ無駄ニ消費シ

テ居ルト云フコトニナルノデアリマス、斯  
ウ云フ點ニ付キマシテハ私ハ鐵道省ダケノ  
責任トハ申シマセヌ、他ノ省ノ御關係モア  
ルコトト思ヒマスルガ、ドウカ現在現實地  
方廳デ御斡旋ニナリ御盡力ニナッテ居リマ  
スルケレドモガ、其ノ力ノ及バナイト云フ  
點ガ多々アルノデアリマスルカラ、其ノ點  
ヲ御考ニナリマシテ、此ノ以上ノ御考慮ヲ  
願ヒタイコトヲ希望致シマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 今日ハ此ノ程  
度デ終リタイト思ヒマス、月曜日ハ午前十  
時カラ開會致シマス、本日ハ是デ散會致シ  
マス

午後零時十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君  
副委員長 男爵大藏 公望君  
委員

侯爵池田 宣政君  
侯爵大炊御門經輝君  
子爵野村 益三君  
子爵秋元 春朝君  
子爵保科 正昭君  
男爵福原 俊丸君  
男爵久保田敬一君  
今井田清徳君

國務大臣

丸山 鶴吉君  
澁澤 金藏君  
今井 五介君  
松本勝太郎君  
風間八左衛門君

內務大臣 侯爵木戸 幸一君

鐵道大臣 前田 米藏君

政府委員

內務省土木局長 挾間 茂君

鐵道政務次官 工藤十三雄君

鐵道參與官 青木 亮貫君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 山田新十郎君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

鐵道省工務局長 阿曾沼 均君

鐵道省經理局長 池井 啓次君

拓務參與官 江藤源九郎君

拓務省管理局長 副島 勝君

樺太廳長官 棟居 俊一君